

措置診察にかかる申請・通報等の処理状況から見る現状と課題

○萩原嬉胡 倉永笑民¹⁾ 中川優馬 日高真紀 蛭原夕起子 杉尾重子 藤崎淳一郎
中央保健所 健康増進課¹⁾

I はじめに

当保健所における精神科救急対応は、2町及び宮崎市（中核市）を管轄している。宮崎市内には大学病院や総合病院が存在するため、年間措置対応件数は県内で最も多く、対象者の特性も様々である。また、宮崎市の精神障がい者の入退院、通院状況等の情報は当保健所がないため、常に連携しながら業務を行っている状況にある。

今回、昨年7月に相模原市の障害者支援施設で発生した殺傷事件後、地域精神保健のあり方が再検討されている時期にあるため、当保健所における措置診察にかかる申請・通報等の処理状況から見える現状を整理し、今後の支援の方向性を検討したので報告する。

II 対象と方法

(1)調査期間：平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間

(2)調査対象：当保健所で対応した措置診察対応者184人

(3)調査項目：性別、年齢、通院歴、入院歴、配偶関係、学歴、就労歴、措置診察時の問題行動

(4)分析方法：精神保健事前調査票と措置入院に関する診断書の内容を用い分析した。措置診察時の問題行動については、図1「重大な問題行動」の項目で、①から⑭に記入のあるものを「他害のみのおそれ」、⑮もしくは⑯に記入のあるものを「自傷のみのおそれ」、他害と自傷のどちらも記入のあるものを「両方のおそれ」とする。また、⑰においては、内容を精査し、自傷行為か他害行為かを判断した。

III 結果

1 対象者の基本属性

表1 性別・年齢別婚姻の状況

年齢	男性(n=100)							
	54.3%							
	人数	未婚	有配偶	離別	死別	不詳	n (%)	n (%)
-14	2 (2.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
15-19	2 (2.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
20-24	3 (3.0)	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
25-29	10 (10.0)	9 (90.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
30-34	16 (16.0)	9 (56.3)	2 (12.5)	4 (25.0)	0 (0.0)	1 (6.3)	0 (0.0)	1 (6.3)
35-39	10 (10.0)	7 (70.0)	0 (0.0)	3 (30.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
40-44	6 (6.0)	1 (16.7)	1 (16.7)	4 (67.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
45-49	6 (6.0)	3 (50.0)	3 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
50-54	9 (9.0)	4 (44.4)	2 (22.2)	3 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
55-59	8 (8.0)	7 (87.5)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
60-64	12 (12.0)	5 (41.7)	5 (41.7)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
65-69	5 (5.0)	3 (60.0)	2 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
70-74	4 (4.0)	0 (0.0)	3 (75.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
75-79	4 (4.0)	0 (0.0)	2 (50.0)	0 (0.0)	2 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
80-84	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
85-89	1 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
90-	2 (2.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
全体	100 (100)	55 (55.0)	21 (21.0)	18 (18.0)	5 (5.0)	1 (1.0)		

年齢	女性(n=84)							
	45.7%							
	人数	未婚	有配偶	離別	死別	不詳	n (%)	n (%)
-14	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
15-19	3 (3.6)	1 (33.3)	2 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
20-24	4 (4.8)	3 (75.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
25-29	3 (3.6)	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
30-34	8 (9.5)	3 (37.5)	1 (12.5)	4 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
35-39	16 (19.0)	4 (25.0)	3 (18.8)	8 (50.0)	0 (0.0)	1 (6.3)	0 (0.0)	1 (6.3)
40-44	10 (11.9)	3 (30.0)	2 (20.0)	5 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
45-49	7 (8.3)	3 (42.9)	3 (42.9)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
50-54	1 (1.2)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
55-59	9 (10.7)	0 (0.0)	7 (77.8)	2 (22.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
60-64	7 (8.3)	1 (14.3)	4 (57.1)	1 (14.3)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
65-69	4 (4.8)	0 (0.0)	2 (50.0)	2 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
70-74	4 (4.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
75-79	5 (5.9)	0 (0.0)	2 (40.0)	0 (0.0)	3 (60.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
80-84	2 (2.4)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
85-89	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
90-	1 (1.2)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
全体	84 (100.0)	21 (25.0)	30 (35.7)	24 (28.6)	7 (8.3)	2 (2.4)		

表2 通院・入院歴の有無

通院歴	合計(n=184)			
	n (%)	男性(n=100)	n (%)	女性(n=84)
あり	138 (75.0)	70 (70.0)	68 (81.0)	
なし	42 (22.8)	26 (26.0)	16 (19.0)	
不詳	4 (2.2)	4 (4.0)	0 (0)	
入院歴	n (%)	男性(n=100)	n (%)	女性(n=84)
あり	84 (45.7)	39 (39.0)	45 (53.6)	
なし	94 (51.1)	56 (56.0)	38 (45.2)	
不詳	6 (3.2)	5 (5.0)	1 (1.2)	

表3 学歴（在学中を除く）

	中卒	高卒	大卒以上	不詳	(再掲)中退者
	合計(n=179)	47 (26.3)	57 (31.8)	28 (15.6)	47 (26.3)
男性(n=96)	24 (25.0)	33 (34.4)	16 (16.7)	23 (23.9)	12 (12.5)
女性(n=83)	23 (27.7)	24 (28.9)	12 (14.5)	24 (28.9)	8 (9.6)

表4 就労の状況(在学中を除く)

就労歴	合計(n=179)					
	n (%)	男性(n=96)	n (%)	女性(n=83)	n (%)	n (%)
未就労	8 (4.5)	5 (5.2)	3 (3.6)			
就労中	42 (23.5)	26 (27.1)	16 (19.3)			
無職	109 (60.9)	57 (59.4)	52 (62.7)			
不詳	20 (11.1)	8 (8.3)	12 (14.4)			

表5 就労中・無職者の過去の転職状況

頻回な転職	全体(n=151)					
	n (%)	男性(n=83)	n (%)	女性(n=68)	n (%)	n (%)
あり	30 (19.9)	17 (20.5)	13 (19.1)			
なし	121 (80.1)	66 (79.5)	55 (80.9)			

①性別・年齢

男性54.3%、女性45.7%で、平均年齢は47.3歳、最年少は13歳、最高齢は94歳であった。

男女別の年齢分布では、男性は30歳から34歳が16.0%、女性は35歳から39歳が19.0%で最も高かった。

②通院・入院歴

対象者の75.0%が精神科での通院歴があり、また45.7%は入院歴があった。

③配偶関係

男性の配偶関係については、未婚55.0%、有配偶21.0%、離別18.0%、死別5.0%であった。女性については、未婚25.0%、有配偶35.7%、離別28.6%、死別8.3%であった。離別の割合が最も高いのが40歳から44歳の男性で67.0%、女性では30歳から34歳、35歳から39歳、40歳から44歳、65歳から69歳に4つの年齢層で50.0%だった。

④学歴

対象者の中で、最終学歴が高等学校卒業の者が31.8%と最も高く、次いで中学校卒業が26.3%であった。また、高等学校中退・大学中退者の割合は11.2%であった。

⑤就労歴

就労中の者は23.5%で、無職者は60.9%と高値だった。また、就労中あるいは無職者の調査票に「頻回に転職していた」と記載のあった者は19.9%であった。

2 問題行動について

対象者の重大な問題行動については、「自殺企図」が59.2%で最も高く、「自傷」50.5%、「暴行」28.3%の順に高かった。

診察時に「自傷のみのおそれ」があると判断された者が最も多く47.3%であった。「他害のみのおそれ」がある者は23.4%、「両方のおそれ」がある者は25.0%であった。男女で比較すると、女性の方が「自傷のみのおそれ」がある者が11.6ポイント高くなっていた。

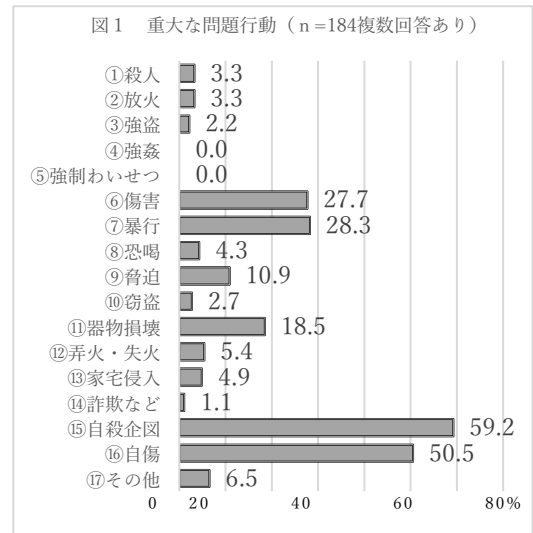
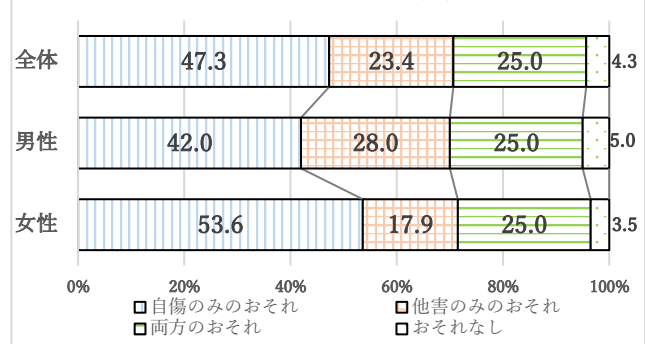


図2 自傷他害のおそれ (%)



IV 考察

今回の対象者を、同様の分析をしていた宮城県の報告¹⁾と比較すると、男女比、年齢分布、精神科通院歴については、いずれも同じ傾向にあった。措置診察対象者の75.0%に通院歴があり、医療、保健、福祉など何れかの支援者との接点がすでに成立していることを鑑みれば、大きな問題や精神症状の悪化を引き起こす前にその状況を解決できるような平常時の地域精神保健活動の継続が重要と考える。

配偶関係に関して離別率を見ると、男性が18.0%で女性が28.6%であった。これを平成27年国勢調査²⁾と比較すると、男性が4.4倍、女性が4.5倍と調査対象者の離別率が高くなっていた。さらに、性別の対象集団で最も人数の多い30歳から34歳男性の離別率は25.0%で国勢調査の結果の12.5倍、35歳から39歳女性は50.0%で8.2倍とさらに高い結果であった。

学歴については、平成22年国勢調査結果³⁾と比較すると、中学校卒業の割合が高く、高等学校卒業の割合が低かった。就業に関しては、平成27年労働力調査の各年齢での就業率⁴⁾と比較すると、男女ともに就業率が低く、男性では40.6ポイント、女性では29.2ポイントの差があった。しかし、就労経験のない者は4.5%であり、多くの者に就労歴があることから、就職しても長続きせず退職したり、頻回な転職を繰り返すなど、社会的な孤立や金銭的な問題も同時に抱えている状況にあることが伺える。

問題行動に関しては、自殺企図が59.2%、自傷が50.5%と最も高くなっていた。宮城県の報告¹⁾では暴行が53.7%、器物破損が49.2%と高くなっているのに対して、当保健所では自傷のおそれがある者が高くなった背景には、救急医療機関からの22条申請が増加していることが要因として考えられる。

これらのことより、措置診察対象者は、学校や職場、家庭で人間関係をうまく構築できず社会から孤立しがちな傾向があると考えられる。社会から孤立すると医療中断のおそれが高まり、問題行動を繰り返し、再度措置対応となるおそれがあるため、孤立を防ぐために、要支援者に対して「関わり続ける」ことが必要である⁵⁾。今後も、医療機関と行政との情報共有の徹底、定期的な支援状況の評価等を行い、積極的な地域精神保健活動を継続して行っていくことが重要である。

参考文献

- 1) 中嶋亜希子：地域における申請・通報事例への対応—平成25年度申請・通報等処理状況から見えてきたこと—、宮城県精神保健福祉センター、2014
- 2) 総務省統計局：平成27年国勢調査抽出速報集計結果、2016
- 3) 総務省統計局：平成22年国勢調査抽出速報集計結果、2011
- 4) 総務省統計局：平成27年労働力調査、統計表第16表 年齢階級別就業率2016
- 5) 兵庫県精神保健医療体制検討委員会：兵庫県精神保健医療体制検討委員会からの提言、2015